

平成28年度 図画工作科 夏季実技研修会

実施日：7月28日(木)・29日(金) 会場：川崎市立新城小学校 岡本太郎美術館

今年度は、2日間で延べ290人以上の方々に参加していただきました。今年度も1日目は、造形活動の際、基礎・基本となる「材料と用具・技法を体験するコーナー」を設けました。2日目は、実際に題材をとりあげ、研究会テーマである「つくりだす喜びを実感できる授業」について、活動を通して研修を行いました。両日とも夏休みが明けたらすぐに教室での指導にいかせる研修となっていました。岡本太郎美術館では、鑑賞と鑑賞を生かした作品制作を行いました。

受講生の皆様からは、「クラスの子どもたちへの声かけがとても参考になった。」「材料や技法について知らなかったことを詳しく研修することができた。」などの感想を頂きました。来年度もより良い研修となるよう研究会みんなで頑張っています。

1日目〔材料・用具・技法体験〕

- 【造形遊び】お手軽図工 アラカルト 準備が大変なイメージを一新！お手軽にできる造形遊びを体験しました。
- 【 絵 】 絵の Good！ 絵の具を使ったモダンテクニックを研修し、楽しく表現しました。
- 【 立体 】 粘土のいろいろ 様々な粘土の特性や扱いを知り、実態やねらいにあった粘土選びも研修しました。
- 【 紙工作 】 紙パワー全開 紙ゼンマイえんじんで動くおもちゃ作りを通して、紙のよさを感じました。
- 【 鑑賞 】 どこにもない自分だけの UEKIBACHI を作ろう！（美術館） 太郎さんに負けない発想で、植木鉢をつくりました。

『参加者の声』造形遊び

新聞紙をつなげる活動では作業に熱中するあまり、無言になってしまいました。新聞紙を丸めると想像以上に丈夫で驚きました。



『参加者の声』立体

油粘土からはじまり、紙粘土、彫塑粘土と様々な粘土を触ることができ、勉強になりました。今後は題材や子どもの思いにあった、最適な粘土を選んで準備していきたいです。



『参加者の声』絵

絵の具の量や水の量、用具の片づけ方など大変勉強になりました。「失敗だ！」と思ったものがむしろ、生きていくところに、図工のよさやおもしろさを感じました。



『参加者の声』紙工作

どうすればもっとタイヤが回るか、もっと走るようになるか、手を動かして考えました。紙の特徴である弾力性を生かすためにアイデアが浮かんで色々試行錯誤しました。

2日目〔題材ごとの実技研修〕

- 【造形遊び】クミクミックス 身近な材料の段ボールを切ってつなげたり、組み合わせたりして研修しました。
- 【 絵 】 自分の花をさかせよう クレヨンや絵の具などの描画材を用い、種からどんな花が咲くか想像しました。
- 【 立体 】 くしゃくしゃぎゅっ クラフト紙に紙などを詰めて、自分の思いにあったふしぎな生き物をつくりました。
- 【 紙工作 】 ビー玉コロコロ大ぼうけん！ 紙の加工の仕方を考えながら、ビー玉を転がして遊ぶおもちゃづくりをしました。
- 【 鑑賞 】 どこにもない自分だけの UEKIBACHI を作ろう！（美術館） 太郎さんに負けない発想で、植木鉢をつくりました。



『参加者の声』絵

夏休み明けに行う題材だったので、大変参考になりました。教師の投げかけで発想の広がり方に変化があることを、学びました。声かけを大切にしていきたいです。



『参加者の声』紙工作

扱いやすい大きさに切っておいたり、技法のヒントが示されていたりすることで、子どもの活動の意欲付けにつながっていることを体験を通して学ぶことができました。



『参加者の声』造形遊び

段ボールをつないでいくと様々な形に変化していく楽しさがありました。手や体、頭を使ってつくる喜びを子どもの目線で味わいました。



『参加者の声』立体

くしゃくしゃにした紙をテープを使わずにつなぎ合わせようとした時、輪ゴムがすごく効果的でした。実際に体験することで材料のよさに気づくことができました。



『参加者の声』鑑賞

太郎さんの作品から、自分の思いを大切にしている気持ちが伝わってきました。植木鉢の概念を取り払って、自分の思いを形にしました。